

11月に入りすみれさんみんなで話し合いをする中で、昨年のすみれさんのように、『自分たちも小さい友だちに何かを残したい、楽しいことをしてあげたい』という声があがりました。

今年のすみれさんは何がやりたいのかを考えてきてもらい、その考えてきてもらったことをみんなの前で発表してもらいましたが、昨年のすみれさんが行ってくれたお店屋さんごっこがとても楽しかったということもあり、ほとんどの子が『お店屋さんをやってみたい』と考えてきていました。中には自分がやってみたいお店屋さんが決まっている子も多く、そこから小さいグループにわかれ、どんなお店屋さんをやってみたいのかを話し合いました。

やってみたいお店屋さんが子どもたちの中でたくさんありましたが、「全部のお店屋さんはできないね」「このお店屋さんとかついたら楽しいね」など話し合いを重ね、五つのお店屋さんに決まりました。

そして・・・『どうしたら本物のお店屋さんになるか？』と皆で考えた時に『本物のお店屋さんを見にいってみる』という意見がありました。本来なら実際に行って、みんなで同じものを見てイメージを共有にしていきたかったのですが、コロナ禍でできず残念でした。

でも冬休み、「家族みんなでケーキ屋さんに行ってきたよ。お店の中がかわいく飾ってあったよ」「レストランに行ってきたよ、いろいろなメニューがあったよ」とうれしい報告がありました。また親子で一緒にアイデアを考えて頂いたり、参考資料を用意して頂きありがとうございました。

1月に入り、完成した品物を見ながら『早くお店屋さんごっこがしたいね』とさらに気持ちが盛り上がってきたすみれさん・・・

そこで、『お店屋さん買いにきた友だちはどうやってお買い物をするの？』とすみれさんに問いかけました。すると『お母さんは買い物に行ったら、お金を払ってきている』という声があがりました。『でもこどものもりには本物のお金はないよ』という声もあがり、どうしたらお買い物ができるのかの話し合いをしました。そこで・・・

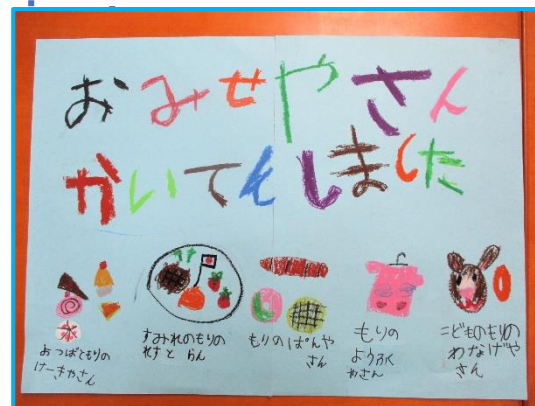
- ①こどものもりには、本物のお金がないからどんぐりをお金のかわりにする。
- ②どんぐりをあげるのではなく、いろいろなことに挑戦して(うんてい・かんぼっくり・パズルなど)どんぐりを稼ぐ
- ③どんぐりで買い物をするのではなく、どんぐりをお買い物券にかえる。
- ④さくら・たんぼぼ・すみれさんは5個で一枚のお買い物券、こすもす・ちゅうりっぷさんは3個で一枚のお買い物券にする。ということに決まりました。

この決まったことを代表の子が各年齢に伝えに行きました。どんなお店屋さんがあり、どうやってどんぐりを集めるのかなどしっかり言葉で伝えることができました。

仲間プロジェクト

いよいよ2月3日プレオープン・・・本番と同じようにお店屋さんになる子、買い物を楽しむ子にわかれしました。このプレオープンで上手くいった所、いかなかった所がわかり、本番のお店屋さんごっこにつなげることができました。また「どんぐりを5個集めるのが大変だった」「いろいろなお店に行きたかったけど、お買い物の券がなかった」という意見が多く、さくら・たんぼぼ・すみれさんはどんぐり3個で一枚のお買物券に、ちゅうりっぷ・こすもすさんは2個で一枚に変わりました。

ドキドキわくわく・お店屋さん当日・・・売り手と買い手にわかれ3日間楽しみました。どの子も最初緊張していましたが『いらっしゃいませ』『どれにしますか？』『ありがとうございました』と言葉でのやり取りを楽しむことができました。小さい子からも『すごく楽しかった、本物みたい』といってもらいました。みんなで話し合い、考えて進めていく大変さ、ありがたいといってもらえる喜びを体感できたなかまプロジェクトでした。



【こどものもりのわなげやさん】

昨年のすみれさんがやってくれたわなげ屋さんがやってみたいということでスタートしました。どんな的にするか話し合う中で、「僕は恐竜を作りたい」「ヘリコプターを作りたい」「動物を作りたい」とそれぞれの想いを伝え合いました。「恐竜だけだと、女の子が来てくれないかもしれない・・・」ということで、動物は小さい子も喜んでくれるかわいいうさぎになりました。またヘリコプターはドクターヘリを作りたい、恐竜はシノケラトプス・ケトラサウルスを作ることに決めました。

まずは、空き箱やトイレトペーパーの芯などを使い形を作っていました。「この角に輪がかかるようにしたい」「うさぎの耳にかかるようにしたい」と輪がかかる所も考えながら形を作っていました。そこに和紙をのりで貼り、絵の具で色を塗っていました。絵の具を塗る時も図鑑を見たり、インターネットで調べたりしながら本物に近づくようにしました。「この色だとちょっと違うな～」と絵の具を何色が混ぜたりしながら何日もかけて色付けをしました。また遊ぶだけではなく、何か景品があったらみんなが喜んでくれるね！と冬休みにすみれさん全員の宿題だった折り紙に穴をあけて紐を通しペンダントを作りました。そして小さい子と大きい子では輪を投げる力が違うということで、投げる所からのまでの距離も考えました。「小さい子はここからなら入るかな・・・」と実際自分たちで輪を投げながら立つ位置を決めました。またどこに立つのかわかりやすくするために、それぞれの遊び着と同じ色のマスキングテープを床に貼ったりと工夫をしました。お店屋さん当日は行列ができるほどの大盛況でした。最終日は114人のお客さんがきてくれた！とみんなで喜び合いました。

